

第2回地域意見交換会における意見等の概要【船沢中学校区】

番号	質問等の概要	回答内容
1	アンケート結果(1)-1の設問内容について、そもそも1学級の人数規模を示した内容になっていたのか。中にはごく少ない人数での複数学級をイメージして回答した方もいたのではないかと感じる。	中にはそのような解釈で回答された方もいるかもしれませんが、こちらの意図としては国が示すような学級規模を想定していました。
2	アンケート結果について、地区によってばらつきはあったのか。	現在集計中であり、全体的な傾向については取りまとめ次第、市のホームページ等で公表したいと考えています。
3	アンケート結果(6)について、その他意見の内容を知りたい。	手元に資料がないので正確にお知らせできませんが、この地区に限らず記載のあったものとして、「すぐに答えが出せない。」という意見や、設問にない回答をされる方もいました。
4	このようなアンケートによく回答するが、その後検討するにとどまりなかなか進んでいないように感じる。	今回の意見交換会を受けて基本方針を策定しますが、その後は各学校区ごとの実施計画を策定するので、その際はさらに細かい話し合いとなります。
5	今後5～6年先は学区の見直しなどは無いのか。	地区によって進み方は違うかと思いますが、基本方針策定後、各地区に合わせた動きになることが想定されます。
6	基本方針には12学級以下の学級の解消を図っているが、国の動きなども踏まえどのようにしているか知りたい。	国としても学級数や通学距離などについて検討を進めているようですので、市としても動向を見極めていきたいと考えています。
7	アンケートの対象者について、保護者以外も対象に含めても良かったのではないかと。中には今回の意見交換会に参加して自分一人が何を言っても変わらないと思っていたり参加しにくかったりする方もいたかもしれない。	今後、地区ごとに協議会等を作って話し合いを進めていくこととなりますので、そのような場で地域の意見を吸い上げて計画を進めていくこととなります。
8	より良い教育環境の充実には教師の充実が不可欠である。教員数の確保が難しいのであれば、配置されていない教員について他校から派遣をしてもらうなどの方法を積極的にとれないのか。また、兼務発令はできないのか。	県では非常勤講師を派遣する事業があります。兼務発令については検討を進めます。
9	弥生小学校の跡地活用について計画は進んでいるのか。	地区の3町会長との話し合いを行っています。今後、各町会としての意見をまとめていただいたうえで改めて話し合うことになっています。
10	小中一貫教育を進めるにあたってのメリットやデメリットがあったら知りたい。	県内における成功例としては不登校が減少した事例があります。また、学力の向上が見られた事例もあります。一方、分離型の一貫校に関しては教員や児童生徒の行き来が不便であるという事例もあります。

第2回地域意見交換会における意見等の概要【船沢中学校区】

番号	質問等の概要	回答内容
11	小中一貫校にしても児童生徒数が増えるわけではない。人数が少ないと部活動の選択肢が少なく、また目標を持ちにくいのではないかと。部活動での精神的な鍛錬や切磋琢磨することも大切だと思う。	学校を越えて合同で部活動を実施している例もありますが、難しい面もあるようです。
12	学力低下が気になる。今は校内で定期テストの順位を貼り出さないとも聞いているがこれでは自分のレベルが分からず、学力に対して意識が低いままなのではないか。	学力向上プランを作成するとともに、子どもたち一人一人に配慮した教育を実践しております。また、授業力向上のための研修を全教員対象に実施しております。
13	子ども側から、恥ずかしいから人前で誉めないでほしいと言われる。幼少期から同じ人間関係で育っているためか、みんな同じ枠の中で同じようなレベルにとどまろうとし、目立つことを嫌がっているようである。	【意見】
14	小さいころから同じメンバーでいることで刺激がなく、ぬるく育ってしまうのではないかと。子どもが減り、教員が余っているのではないかと。だとすれば1クラス10人で複数クラスにすることなど出来るのではないかと。	【意見】